

令和二年（2020年）10月17日（土） Tara-Jambio マイクロプラスチック共同調査～海洋プラスチックごみ問題について考える～
筑波大学から海洋プラスチックごみについて研究している研究者が広島大学竹原ステーションへ来所し、市民を対象とした海洋プラスチックごみに関する勉強会とビーチクリーニングを開催しました。



A: 竹原ステーションに来所する参加者と受付の様子。 B: 参加者に配布されたパンフレット。 C: 受付で行われた新型コロナウイルス拡大防止対策。 D: 開始まで館内を見学する参加者。
E, F: 本勉強会の主催者の自己紹介 (E) と参加者 (F)。



A-D:ビーチマイクロプラスチック採集の様子。1mのコドラート (枠) を設置して **(B)**, 研究者と一緒に砂中のマイクロプラスチックを採集する参加者 **(C)**. **D:** ふるいの中からマイクロプラスチックを探す参加者。
E,F: 市民によるビーチクリーニングの様子。



A-E: 市民によるビーチクリーニングの様子。
F: 浜に打ち上がったプラスチックごみ (写真はスペーサーとしてカキ養殖に使われるパイプ)。



A-C: 市民によるビーチクリーニングの様子. **B:** 砂中から出てきたプラスチックごみ. **C:** ビーチクリーニングによって回収されたごみ.
D, E: 海洋プラスチック汚染の環境問題、本プロジェクトおよび海洋プラスチック問題の解決策についてのパネル展示の様子. **F:** 勉強会およびビーチクリーニング参加者とスタッフ.